



長尾台小学校区の昔物語

宝塚の地名のゆらい



タカラコちゃん、宝塚という地名の由来を知りたいかい？

うん！知りたーい！

※1 宝塚

元禄14年(1701)に編さんされた地誌『摂陽群談』には、宝塚について「この塚のそばで物を拾う者に必ず幸せあり。このことによって宝塚の名がついたといわれている」などと紹介されています。

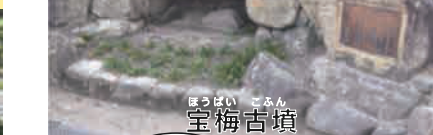
しかし！

「塚」とは古墳のこと。幸せをもたらす土地として人々に語り伝えられたそうじゃ。

それで宝塚の地名になっただね！

宝塚発祥の地は説がいくつもあるんじゃ！

1 旧川面村(現:御殿山)に宝塚と呼ばれていた古墳があった。※2



えーっ！

けっきょくはどれが本当なのー？

宝の塚石碑(御殿山)

宝梅古墳

3 昔、宝塚山宝泉寺(現:宮の町)の地に高額比売命を祀った古墳があったとされ、それが宝塚へ転訛した。



宝泉寺

まあまあ。それに関しては宝塚市民それぞれの心の中でとどめておくでしょう。

永遠のナゾでいいんじゃ

※1 宝塚という名は江戸時代寛文12年(1672)の検知帳で初めて確認されている ※2 塚があったと思われる土地の所有者が石碑を建てた(昭和35年) ※3 宝塚中学校の校庭に移築されている

コミュニティひばりの表紙の写真募集！

本紙の表紙に写真を掲載してみませんか。長尾台小学校区周辺で撮影した四季折々の行事や風景など、素敵な写真をお待ちしています。

募集内容

1. 応募者本人が長尾台小学校区において概ね1年以内に撮影したもの
2. 未発表のもの
3. デジタルデータJPEG形式で提供できるもの
4. 人物が映り込んでいる場合は、原則として個人が特定できないものであること。(被写体の方の承諾を得た場合は除く。被写体が未成年の場合は保護者の承諾を受けてください)
5. 個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの

応募資格：どなたでも1点まで応募できます。
応募締切：2021年12月31日まで

応募方法：メールで件名に「表紙写真応募」とし写真データを添付して、必要事項(応募者氏名・撮影年月・撮影場所)を入れ以下のアドレスまでお申し込みください。

応募先
cohibari2@gmail.com

※応募上の注意
・応募写真に関する著作権、肖像権などの問題が発生した場合その責任及び解決はすべて応募者に帰属するものとします。
・写真は、無償でコミュニティひばりが使用することに許諾したものとします。
・採用された写真は、必要によりトリミング処理等を行うことがあります。



レギュラー事業 ひばり子ども館

月曜日から土曜日
10時~12時/13時~17時
(日曜日・祝日
・年末年始は休館)

出前児童館

第3木曜日 10時~12時
雲雀丘倶楽部2階和室にて

ふれあい喫茶

「思い出の歌ひろば」
第4水曜日 10時~11時30分
コミュニティセンターにて

ふれあいテラスでの相談事業

福祉なんでも相談

第2水曜日 13時30分~15時

キャリアアップ相談

第4木曜日11時~15時
/ 1人50分

コミュニティひばりへのお問い合わせ・ご意見・ご要望は事務局へ
電話 FAX **072-774-9191**
mail :cohibari@outlook.jp
不在ですが折り返し連絡しますので、留守電メッセージにはご連絡先とご氏名をお願いします。

99

No. 長尾台小学校区
まちづくり協議会
コミュニティひばり
長尾台1-1

2021年 6月12日発行

宝塚市長尾台小学校区のしんぶん

コミュニティひばり

コミュニティひばり
ブログはこちら



万年坂地藏石仏

今年度のコミュニティひばりの活動方針について

コミュニティひばり会長

コロナ禍で新しい見直しを

昨年から続く新型コロナ禍の影響により、コミュニティひばりの活動は大きく影響を受けてきました。高齢者対象の様々な活動から、子供たち対象の活動まで、さまざまな活動が中止になりました。新型コロナウィルスを克服した後も、従来同様の活動はむづかしいのではないのでしょうか。まず、会議については、Zoom会議を一般化させていきましょう。今はまだむづかしい面はありますが、慣れてしまえばだれもが

簡単に参加できるようになるのではないのでしょうか。次に事業ですが、長年、同じ人が、同じやり方で行われていたことを今回のコロナ禍を契機に、新しいやり方を開拓していくことが重要になります。

スタンプラリーの実施を予定

ひばり祭りについては、開催場所の問題、企画等、考え直す良い機会ではないかと思っています。今年度はそれに代わる活動として、私たちの住む地域の歴史を知り、魅力を再発見し、長尾台小学校区全体でスタンプラリーをする活動を盛り上げて、是非成功に導きたいと思っています。この活動を通じて、地域の人々との繋がりをもっと強めていければと願っています。